

豊高SGH フェアトレード班 通信

2015年
6月5日
第4号

フェアトレードとは途上国の生産者を
対等なパートナーとし適正な価格で継
続的に取引してフェア（公正）なト
ード（貿易）をめざす取り組み。

フェアトレードチーム

明日六月六日(土) 九時

社会科学教室集合!

明日は土曜日ですが、SGHの催しを
行います。フェアトレード班は、関西
の高校や大学でフェアトレードやマイ
クロファイナンスを教えておられる小
吹岳志さんに来てもらって、講演をし
てもらいます。単にフェアトレードだ
けでなくその背景にある国際的な問題、
国際援助のあり方、NGOの果たして
きた役割など、基本的なところから話
をしてもらいます。意見や質問の交流
などもされます。大変ためになり、今
後の活動の参考にもなるので必ず参加
してください。毎週土曜日TOEFL
講習会に参加している人達の中でフェ
アトレードに興味のある人達も合流し
ます。九時に社会科学教室に集合。

行ってききました 関学に

SGHの取り組みは、関西学院大学（関
学）の先生にアドバイスをもらいつつ進
めていきます。その打ち合わせに試験中
の五月二五日に、伊田と教頭先生が関学
に行ってきました。フェアトレードの担
当は人間福祉学部教授で社会的企業を研
究しておられる武田先生です。関学はと
てもきれいな大学でSGU（スーパーグ
ローバルユニバーシティ）にも指定され
ました。（あんなところでもう一度勉強
してみたい・・・）。武田先生とお話し
する中でAPIKRIとつながりのある
NGO（非政府組織）の方を紹介してい
ただきました。今度はこの方とお会いし
てAPIKRIについて話を聞いてこよ
うと思います。武田先生はとても気さく
な先生でどんな
質問にも丁寧に
答えてくださっ
ていました。

来週月曜日の

課題研究の時
間はその武田
先生に学校に
来ていただいて
話をしてもら
います。土曜日
に聞いたことを
もとにしてど
んどん質問し
て答えてもら
いましょう。



クリティカルシンキング2

六月一日の課題研究は前回に続いて関西
学院大学の吉田寿夫先生による「クリティ
カル・シンキングのすすめ」でした。
前回からだいぶん間が空いたのですが、今
日も日常の中で陥りやすい思考の癖をいく
つも紹介してもらいました。

▲「じやないといけない」という思い込み
（非合理的信念）。今どき思いつきで
崩れていつている時代ですね。

▲推測で判断する。警察の誤認逮捕はこれ
でしょうか。

▲脳は安定したがる癖があるので、反証
をいやがる。持っている知識や仮説、信念
に沿って情報処理してしまう。『豊高生は
よく勉強する』

▲無理やり二分して判断する。二者択一
にこだわる。

▲そのときの気分で判断する。

▲長期的な結果の予想（KY）をせずに
価値判断してしまう。美談も裏返して考え
てみれば問題有りということ。

どれも身につまされることばかりです。
そしてクリティカルな思考のためのポイン
トをいくつも紹介してもらいました。批判
することを認め合い、批判しあえる風土を
つくるというのはなかなか大変そうです。
プリントの復習も大切。最後に課題が出ま
した。次回の課題研究の時間に提出です。
参考図書も紹介してもらいました。

伊田

